地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲だより

2019
9月
No.64

兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

［診療科紹介］

糖尿病・内分泌内科
歯科口腔外科

第5回 AGMC地域医療懇話会を開催しました

●［AGMCニュース］
新しい心臓補助装置による急性心不全治療を開始しました

●セミナーのご案内　●患者さん・ご家族への病状説明等について

●耳鼻咽喉科・頭頸部外科 石川 正昭 先生が
第44回 一般財団法人 日本健康開発財団研究助成：最優秀賞を受賞しました

糖尿病・内分泌内科

糖尿病だけでなく、各種内分泌疾患の診療においても地域に貢献してまいります

最近ではCTやMRI等で偶然甲状腺腫瘍や副腎腫瘍が見つかることが多くなってきています。また心血管疾患を合併しやすい原発性アルドステロン症を高血圧症例でスクリーニングをする重要性が注目されています。このような甲状腺や副腎だけでなく、下垂体や副甲状腺といった各種内分泌疾患の診断・治療を積極的に行っています。

糖尿病・内分泌センター長　**中村 嘉夫**

- 京都大学医学博士
- 京都大学糖尿病・内分泌・栄養内科　臨床教授・非常勤講師
- 日本糖尿病学会　専門医・指導医・学術評議員
- 日本内分泌学会　専門医・指導医・評議員
- 日本内科学会認定医・指導医

提供する活動内容

●糖尿病

個々の患者様の病態にあった最適な治療を選択するため、2週間程度の糖尿病教育入院をお勧めしています。

●甲状腺疾患に対するアイソトープ治療

当院は阪神間でも数少ない甲状腺疾患に対するアイソトープ治療が可能な施設です。甲状腺癌には特別治療室で、またバセドウ病に対しては一般病室でアイソトープ治療を行っています。

●原発性アルドステロン症

確定診断を得るために5日間入院による各種内分泌負荷検査を行います。その後手術を検討すべき症例に対しては副腎静脈血サンプリングを施行し、慎重に治療方針を決定しています。

構成メンバー

スタッフ4名、フェロー1名、専攻医3名
外来非常勤医師2名

前列左から：原田、中村、西浦／後列左から：本村、井上、辻村

患者さんや地域医療機関へのメッセージ

糖尿病の血糖コントロールをはじめ各種内分泌疾患の診断・治療が必要な患者様は、お気軽に当科を受診頂けましたら幸いです。

歯科口腔外科

個々の患者さんに合わせた治療を行います

歯科口腔外科は、咀嚼（食べ物をかみ砕く）、嚥下（飲み込む）、構音（言葉を発する）などの失われた口腔機能を回復することを目的とした専門科です。地域の歯科医院と役割分担しており、う蝕・歯槽膿漏・義歯・歯科インプラントなどは歯科医院で行い、当科では、抜歯、外傷・炎症・嚢胞・腫瘍などの治療、腫瘍摘出であごが無くなった方の顎骨再建と顎顔面インプラント治療を専門に行っています。

歯科口腔外科 科長　**藤村 和磨**

- 日本口腔外科学会専門医・指導医
- 日本顎関節学会専門医・指導医
- 日本小児口腔外科学会指導医
- 日本口腔科学会認定医・指導医

■歯科口腔外科医5名：左から 丸山、村上、藤村、奥舎、小山

歯科口腔外科

中央手術室での局所麻酔下での抜歯風景

口腔衛生部門

■歯科衛生士5名：
左から平野、難波、岡、石本、山内

「がん等に関わる周術期口腔機能管理や人工呼吸器装着患者のチーム回診、病棟での口腔ケア指導を担当しています。」

特殊技工部門

■口腔外科技工士
1名：森

「お薬で出血しやすい方の術後止血用口腔装具、顎変形症手術の顎模型での手術シミュレーション、あごの骨がなくなった方の顎骨を補った義歯、顎関節症や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔装具などを作製しています。」

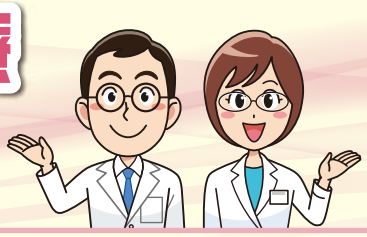
提供する活動内容

智歯の抜歯を含めた外来小手術は、日帰り局所麻酔手術として全て中央手術室で、月曜日、水曜日、金曜日に行っています。そのため、手術室を予約しますので、原則初診日に抜歯をすることができませんが、清潔操作で手術を行い、血圧測定や心電図や、経皮的動脈血酸素飽和度（酸素が体に取り込まれている割合）を手術部スタッフが監視しながら安全に行っています（左上の写真）。

地域医療機関へのメッセージ

急を要する口腔外科領域の疾患は、時間内であれば当科外来受付に直接電話をしていただき、紹介状持参で受診させてください。時間外では、当院救急部に紹介状持参で受診させてください。当科担当者がオンコール体制で対応をいたします。

第5回AGMC地域医療懇話会を開催しました



令和元年7月20日(土)、当センター講堂において、第5回AGMC地域医療懇話会を開催しました。

今年で第5回目となるこの懇話会では、地域の医療関係者の皆さまへ、当院の実績や新たな取り組みをご紹介しました。

また、NPO法人ささえあい医療人権センターCOML(コムル)山口 育子 理事長をお招きし「患者が医療者に望むこと」と題し、患者が医療者に望むコミュニケーションの基本等について、ご講演をいただきました。

<当センターでの新たな取り組み>

❶循環器内科
「僧帽弁逆流症を伴う心不全患者に対するMitra Clipの実践」について

❷糖尿病・内分泌内科
「生活習慣病外来」について

❸外科・消化器外科
「ロボット支援下直腸癌手術」について

❹産婦人科
「総合的アプローチで行う子宮筋腫治療」について

例年以上に多数の関係者の皆さまにご参加いただき、改めて深く感謝申し上げます。今後も円滑な地域医療連携が図れるよう取り組んで参ります。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

セミナーのご案内

第77回市民すこやかセミナー

多くの方のご参加を！

テーマ『薬で困っていませんか？』
【講　師】県立尼崎総合医療センター ●薬剤師　石井 恵里香

テーマ『漢方って？』
【講　師】県立尼崎総合医療センター ●薬剤部次長　西尾　孝

【日　時】令和元年10月18日(金曜日) 午後2時～3時30分(開場1時30分～)
【場　所】県立尼崎総合医療センター 講堂(1階) **定員:120名(参加費無料・予約不要)**

★会場の防災管理上、定員になり次第入場を制限させていただきます。
★お問い合わせ：県立尼崎総合医療センター 地域医療連携センター ☎ 06-6480-7000(代表)

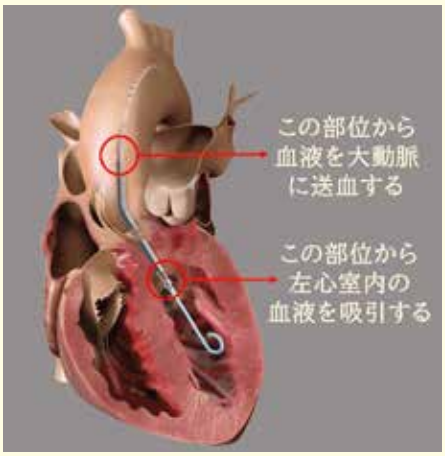
●主催:兵庫県立尼崎総合医療センター
●後援:尼崎市・尼崎市医師会

AGMC ニュース

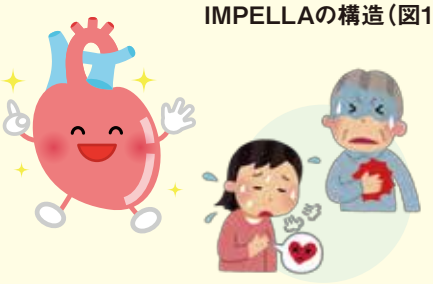
新しい心臓補助装置による急性心不全治療を開始しました

急性心筋梗塞を代表とする重篤な心臓病により心臓のポンプ機能が極度に低下すると全身への血液供給が十分にできない心原性ショックという急性心不全状態に陥ります。心原性ショックに対する治療としては強心剤を中心とした薬物療法や心臓補助装置（IABPやPCPSという装置が従来から用いられています）による循環補助療法がありますが、残念ながらこれらの治療で救命できない症例も少なからずありました。

このたび当院の循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、臨床工学科、看護部からなるハートチームでIMPELLAという新しい強力な心臓補助装置を用いた治療を導入しました。本治療はポンプカテーテルを左心室という全身に血液を送る心室に挿入して、そこから血液を吸い出し大動脈に送血するという仕組みで、弱った左心室の代わりに全身に血液を送ることが可能です（図1）。



IMPELLAの構造（図1）



本装置は厳しい認定基準に合格した施設のみで使用可能で、当院ではハートチームでトレーニングを行い（図2）、本年8月1日から使用可能となりました。心原性ショックという急を要する病態から当院での治療対象となる地域は尼崎市および隣接する西宮市、伊丹市、西大阪あたりになるかと思いますが、これらの地域では現時点で当院でのみ使用可能です。本原稿を作成した8月中旬までに既に2例の重症心原性ショック症例に使用し、2例とも救命に成功しております。

当院では消防署救急隊と定期的に心臓救急に関する研究会を行っていますが、その会を通じて本装置を用いた治療の情報共有を行い、当地域での心臓救急の更なる発展に尽力したいと思います。

循環器内科　医長 福原 怜
循環器内科　部長 当麻 正直
心臓血管外科　部長 大野 暢久
ハートチーム スタッフ一同

ハートチームでのトレーニングの様子（図2）

患者さん・ご家族への病状説明等について

日頃は、当院の診療にご協力いただき有難うございます。さて、医師の長時間労働に伴う健康被害が社会的問題として大きく取り上げられ、厚生労働省より、全ての医療機関に対して、「働き方改革」の趣旨に基づき、医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みが求められています。

これを受け、当院の取組みとして、「患者さん、ご家族への病状説明等」を「平日の日勤時間内(9:00～18:00)」に実施させていただく方針といたしました。

病状の変化等により診療科から申し出る場合を除いて、患者さん、ご家族の都合による土曜、日曜、祝日、又は時間外の病状説明等のご依頼は、お断りする場合がございますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 石川 正昭 先生が 第44回 一般財団法人日本健康開発財団研究助成 最優秀賞を受賞しました。

日本健康開発財団は、温泉等の自然環境を利用した健康増進の研究・調査や疾患の早期発見を目指した総合健診センターの運営など、一貫して予防医学を基本とする健康作りに取組んでいる団体です。温泉療法や入浴に関する研究で、特に優秀な研究には最優秀賞、優秀賞を授与しています。この度、当センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科の石川先生の研究が「最優秀賞」を受賞しました。研究テーマは「健常成人を対象とした足浴が自律神経活動にもたらす効果の検証」で、リラクゼーション効果のある足浴がストレス軽減に繋がるかを、自律神経活動から検証するというものです。

石川先生からのコメント

「なぜ耳鼻科医が足浴の研究を行うのか、といったところを絡ませて申請したのが良かったのかもしれません。昨年度より、負荷をかけた際に生じる自律神経活動変化を複数の臓器を対象にして検証する臨床研究を開始していました。高齢になると発症しやすい「老人性鼻ろう(鼻水)」は末梢循環不全(手足の冷え)が原因と言われております。そこでまずは足浴が自律神経活動に与える効果の研究を行いました。当病院の職員を中心とした110名の方に無償で被験者としてご協力いただき、得られた成果から最優秀研究賞を今回受賞することができました。この場を借りてお礼を申し上げます。

今後も様々な観点を伴った負荷を対象にして研究を継続したいと考えています。」

編集後記

二十四節気の立秋から約10日が過ぎました(本稿執筆時点)。暦の上では秋に向かうわけですが、まだまだ暑い日が続いています。7月の世界気温は観測史上最高を更新したとか、海氷面積は過去最少になったとか、最近ではお決まりのようなニュースも報道されていました。ここまで厳しい気候が続くと誰でも体調を崩しやすくなりますね。一度立ち止まって、ボーっと一息いれるのも良いかもしれません。英気を養って今年の後半戦を乗り切りましょう。　(N.O.)

兵庫県立尼崎総合医療センター
Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)
〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号　TEL 06-6480-7000(病院代表)　FAX 06-6480-7001
URL : http://agmc.hyogo.jp/

兵庫県立尼崎総合医療センター　検索

発行　兵庫県立尼崎総合医療センター　企画協力・デザイン・印刷　兵田印刷工芸株式会社